



藻場・マングローブ再生活動 マルハニチロ株式会社



マルハニチログループは、東京湾の水質を改善し海の生物のすみかとなって沿岸の環境を整える、アマモ場の再生活動に2014年から協力しています。加えて2022年から当社が養殖事業を行う奄美大島の瀬戸内町が実施する藻場とマングローブの再生活動にも協力しています。

① アマモの花枝採取と種まきへの協力

NPO法人海辺つくり研究会の指導のもと、東京湾にて毎年5月末～6月上旬に当社従業員とその家族が参加し、実際に海に入ってアマモの花枝を採取しながら、従業員の環境や生物多様性への意識向上を図っています。また毎年11月頃には採取したアマモの種まきイベントにも参加し、アマモ場の再生活動に協力しています。



千葉県木更津市の盤洲干潟のアマモ場で集合写真



アマモ場



アマモの花枝



花枝採取の様子



アマモ場に生息する生物



横浜港でのアマモ種まきの集合写真



溶けて海に還る自然素材で作られた紙粘土にアマモの種を付ける様子



② マングローブ植栽活動への参加

2022年より瀬戸内町水産観光課が主催するマングローブ再生活動に当社従業員が参加し、瀬戸内町小名瀬地区にマングローブの一種であるメヒルギの苗をこれまでに約700本を植えました。この活動には、当社のほか地元漁協や小中学生や高校生なども参加しています。水産資源や生物多様性の回復、炭素貯留による気候変動対策の効果が期待されます。



瀬戸内町でのメヒルギの苗植栽時の集合写真

③ アマモサミット「海辺の自然再生 高校生サミット」への協賛

当社は「海辺の自然再生 高校生サミット」に2017年から協賛しています。東京湾以外にも、各地の海辺の自然再生に取り組む全国の高校生が、活動を発表し、専門家からの助言を得ながら意見交換を行うことで、それぞれの活動の質を高め、全国の仲間とのネットワークを広げることが目的の本サミットに賛同し、支援しています。



高校生サミットの様子

海の恵みを事業の資本としているマルハニチログループとして、今後も積極的に藻場とマングローブの再生活動を通じて、持続可能な海洋環境の創造、生物多様性を保全、気候変動対策に取り組んでいきます。